

発行責任者
公益社団法人隊友会 神奈川県隊友会
湘南支部長 中尾 剛久
茅ヶ崎市赤羽根 2661 - 26
Tel : 090-4897-4074

隊友 湘南支部ニュース

国民と自衛隊との架け橋！

「第47回神奈川自衛隊音楽まつり2026」への協賛、ご支援ありがとうございました。

湘南支部長 中尾 剛久

来年、令和8年3月15日(日)海老名市文化会館で開催されます「令和8年度陸海空自衛隊 防衛大学校等各種学校に入隊、入校予定の皆さんを激励する音楽まつり」に対し、隊友会湘南支部として支援のご協力をお願い致しましたところ、54名の支部会員の皆様から17万円と、言う多額の協賛金が集まりました。音楽まつりのプログラムに掲載されます左記の2枚の支部広告及び同広告代16万円を音楽まつり実行委員会へ送金致しました。ご支援、ご協力頂きました事厚く御礼申し上げます。

令和8年 祝 御入隊・御入校 隊友会湘南支部会員協賛者一同 (その2)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 山口 真毅 | 左奈田幸一 | 山内 敏秀 | 池田 周平 |
| 濱口 浩二 | 堀井 光男 | 今武 孝之 | 太田 純一 |
| 松長 泰幸 | 萩原 洋聡 | 寺中 哲夫 | 金子 勇二 |
| 長谷川 語 | 中根 圭介 | 原 康二 | 其浦 勇治 |
| 藤間 洋一 | 牛尾 裕春 | 板庭 憲昭 | 貴裕 |
| 三澤 征治 | 高橋 友行 | 吉田 清人 | 泉川 博 |
| 喜瀬美恵子 | 和田 兼介 | 以上54名 | (順不同・敬称略) |



R7.10.15 防災訓練：平塚市総合防災訓練防災フェアに参加

令和8年 祝 御入隊・御入校 隊友会湘南支部会員協賛者一同 (その1)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 中尾 剛久 | 小見山 雅 | 尾崎 謙一 | 田中 了 |
| 藤澤 豊 | 西村 剛 | 佐藤 友昭 | 深澤 文晴 |
| 渡辺 一正 | 平川 幹雄 | 菅原 政弘 | 牧石 健志 |
| 清崎 忠徳 | 福樂 勲 | 長田 博 | 高見 治雄 |
| 岡崎 光博 | 尾上 洋一 | 高木 幸夫 | 高尾 潤一 |
| 中尾 武夫 | 中尾 眞 | 高橋 祥子 | 石川 政弘 |
| 吉富 望 | 関 克行 | 青山 元彦 | 岩崎 政弘 |



R7.8.28 部隊研修：りっくランド・聖武堂記念館ツアー

「年末のご挨拶」

湘南支部長 中尾 剛久

早いものでもう十二月の声を聞いております。今年はやけに長い猛暑の夏から、秋を飛ばしていきなり冬が到来したかのようであり、いつもとは違う足早な年のように感じています。時の移ろい自体も(年齢のせいかな)実感として早いと感じていますが、それよりも我が国の国内及び国外の情勢の変化の速さに驚いています。この原稿は十二月に入ってから作成している上に、目まぐるしく動く国内外情勢に触れることも少ないので、それほどの違和感はないと思いますが、通常の雑誌等に掲載される記事であれば一か月以上前に作成されるのが普通でしょう。今年のように情勢が流動的かつ変化の速度が早ければ、原稿が掲載される頃には全く違った状況になってしまい、せつかく苦勞して書いた原稿が時宜を得ないものになってしまふこともしばしばです。月刊誌や季刊誌のような、比較的発行インターバルの長い出版物を読む場合は、今年には特に、いつ頃のことを書いていいのか注意する必要があります。かと言ってネット環境で垂れ流される言説を鵜のみにすることはさらに危険です。根拠の確認が不十分で、一時の感情に流されて発せられる意見が多い印象です。情報の受け取り側として気をつけたいものだと思います。さて、今年の隊友会湘南支部は皆様のご協力もいただき、例年どおりの活動を継続してまいりました。支部ニュースも何とか毎月発行し、会員の皆様にお届けすることができました。この間、特筆すべき事項としては五月に支部長が交代したくらいです。これもただ単に支部長の顔が変わっただけで、支部活動自体へのインパクトはほとんどありませんでした。問題は私自身です。五月に支部長に就任して以降の支部の活動は、実に新鮮な経験でした。会員の皆様に参加を案内している支部計画のイベントがいくつかがありますが、正直に申し上げて、一会員としての私自身は、さほどの興味を持ってはおりませんでした。しかしながら、支部長として諸イベントに参加するようになると、その意外な(失礼！)魅力に驚いた次第です。例えば春の防衛講演会では、笹川平和財団の河上氏のお話を伺いましたが、実に具体的な内容で、我が国周辺の厳しい安全保障情勢を改めて認識する縁となりました。夏の部隊研修は陸上自衛隊の広報施設である「りっくランド」と振武臺記念館の研修に行き、名所旧跡探勝では、靖国神社の遊就館を中心に研修しました。いずれもピュラーな研修先ではありませんが、改めて訪問してみるとそれぞれに新しい発見などもあり、有意義な研修になりました。残念ながら、これらのイベントの参加者は、ある程度固定されてしまっているのが現状です。一会員であつたところの私の認識と同じく、大多数の会員の方々に興味を持って

いただいたくないことが、その原因の大部分であろうと推察しています。ところが、今年の私と同じように、参加してみると実際にオモシロイことがわかると思います。是非一度、奮ってご参加していただきたく、お勧めいたします。何はともあれ、会員の皆様には今年もお世話になりました。来年も健康で穏やかな一年になりますように祈ります。隊友会湘南支部の活動についても倍旧のご理解とご協力をお願いしたいと思います。良い年もお迎えください。

「パプアニューギニアのこどもたち展」レポート その3
支部理事役 萩原 洋聡

3 展示内容の概要説明

- ① あいさつ (開設趣旨)
- ② PNGの概要紹介(地図、環境等)
- ③ 日本戦没者遺骨収集推進協会のパンフレット(日本戦没者遺骨収集事業の説明)
- ④ こども君たちの絵画 主役的な絵画「なかよし」
- ⑤ PNGの芸術品(木彫りの面、人々の生活の品々)
- ⑥ PNGでの活動状況・こども君たち

- ⑦ 民族衣装試着コーナー
- ⑧ 問いかけ
- ⑨ あいさつ（御礼）



教室内の展示風景の一部

特に、この展示における主役（主賓）的な1枚の絵画「なかよし」を三河龍氏が、大きなスクリーンに拡大印刷してくださいました。その他の「こども君たちの絵画代表」のパネル印刷一式も三河龍氏に準備していただいたものです。この場を借りて深く御礼申し上げます。この空間に、デッスン、ドカスンとした存在感だけでなく、いかにも『なかよし』の雰囲気（オーラ）を発散・放射しています。参観者から自然と笑みとニコニコ顔がはじけていました。（なかよし放射能??? 効果???）。私は、改めてこの一枚を眺めると、ジュワッとして心の汗（涙）?が、ある種の懐かしさと共に、何故だか自然と湧いてくるような気がしています。

ちの日常と交流事例の紹介



「なかよし」

「広報官の激励、慰労会」の開催

支部理事役 田中 了

11月22日（金）に藤沢・平塚事務所との慰労、激励会を実施しました。藤沢・平塚両事務所の各所長、各広報官方々の6名に、湘南支部の有志10名を加えた計16名の参加となりました。前半は、中尾支部長、鮫島所長、兒玉所長の挨拶に始まり、後半は、カラオケを含めて誠に愉快な、楽しい会となりました。締めは、恒例の「同期の桜」の斉唱でしたが、他のお客さんからも手拍子があり店内一丸となり和やかな雰囲気で終始致しました。事務所長・広報官の方からは昨今の募集難の状況で、部隊勤務と異なる環境で様々な工夫をされている話等聞くこともでき有意義な内容でもありました。一方、湘南支部側でも部隊実習、史跡見学等の活動の紹介およびその成果として複数の入隊者を得ることができた成果等を説明することができました。



広報官との慰労激励会

このように、湘南支部の皆様も忘年会を兼ねている内容でもあり、両事務所との懇親の趣旨からも是非ご参加頂けるようよろしくお願い致します。

自助能力を試す

支部理事役 鼓 達也

最近では様々な場所で防災訓練やイベントが実施されており、防災意識を高める機会が多い。しかし、必要な備蓄品を準備しハザードマップなどを確認すれば万全なのか。備蓄や知識だけではいざ発災時に行動できるだろうか。ライフライン（電気・ガス・上下水など）が機能しない時に自宅の備蓄品で生活することが可能なか試したことがあるか。発災してから必要な物の準備や使用方法を調べるのは困難である。平時から自宅にある物で災害時に生活が継続可能なかどうか自助能力を試しておくが良い。特にいわゆる災害弱者は平時から災害時の生活を意識し実践しておくことがおすすめである。

10月に神奈川県内の支援学校で、医療的ケア児とその家族向けに自身で準備した物品で1泊するキャンプや車中泊の訓練が行われ、私も災害専門の看護師として参加させていただいた。この催しは障がい児のご家族が避難所に行かずに生活を送る練習の場を求めたことがきっかけで実施され今年で4回目となる。

専門家が勧めた防災用品を備蓄しても普段から使用しないといざという時に使用できない。能登半島沖地震でもトイレの凝固剤は自宅にあるが使用し

たことがなく発災後に使えなかった事例もある。防災用品や備蓄品を何度も実際に使用して災害時を想定した生活に慣れておき、不足品やより自身の生活に合う品を買い足すことにより自助能力向上が図られる。特に持病がある方や災害弱者は避難所や身近にすぐ手に入らないような医療用品はある程度備蓄や代替品も検討しておく必要がある。ライフラインの復旧や公的な支援に繋がるまでは自力で生活するしかない。平時から体験しておくことで発災後も自然と行動できるようにすることが望ましい。

支部会員による2026

第47回神奈川自衛隊音楽まつり協賛

湘南支部長（十二月五日現在）

多くの会員各位から協賛をいただいています。ご協力に感謝申し上げます。和田兼介、計54名（敬称略）

「支部の予定」

- ・01/10（土）第10回支部理事役会
- ・01/18（日）6団体新春の集い
- ・01/19（月）1月号隊友紙発送
- ・02/14（土）第11回支部理事役会
- ・02/20（金）2月号隊友紙発送
- ・03/07（土）第12回支部理事役会
- ・03/15（日）神奈川自衛隊音楽まつり

編集後記

12月6日、沖縄本島南東の公海上空で、中国海軍の空母「遼寧」から発艦したJ15戦闘機が、航空自衛隊のF15戦闘機に2回にわたってレーダー照射を行った事案が発生した。今後とも各種ジャンルに亘る、ご寄稿のご協力を宜しくお願い致します。